

気持ちの強さと変化を表す言葉

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

気持ちの強さや、気持ちが^か変わる様子を表す言葉を使おう

まず、たしかめよう

- 気持ちの強さ：少しうれしい → とてもうれしい → 飛び上がるほどうれしい
- 気持ちの変化：はじめは^{へんか}不安^{ふあん}だったが、だんだん楽しくなった。
- 「はじめは」「だんだん」「しだいに」「ついに」などを使うと、変化が^{へんか}分かる。

いっしょにやってみよう

れい 「最初はこわかった。でも、しだいに^な慣れてきた。」

① 気持ちを二つ
見つける。

② こわい → ^な慣れた。

③ 答え 気持ちが^か変わった

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 気持ちがいちばん強いのは？

☐ 少しくやしい

☐ くやしい

☐ なみだが出るほどくやしい

② 気持ちの^{へんか}変化を表すのに使える言葉を二つ^{えら}選ぼう。

☐ だんだん

☐ たとえば

☐ しだいに

☐ または

③ () に入る言葉を考えて、気持ちの^{へんか}変化を書こう。

はじめは () が、だんだん () 。

答え

1. なみだが出るほどくやしい

2. だんだん・しだいに

3. 例：きんちょうしていた／楽しくなった

ざいりょう

材料をくらべて分けよう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあてざいりょう
集めた材料をくらべて、なかまに分けようかくう
架空の人物のメモ (このメモを使ってもよい)

話題：近所の公園

すべり台・広い原っぱ・さくらの木・ベンチ・セミの声・ブランコ・どんぐり・
水飲み場

いっしょにやってみよう

れい 「遊具」のなかまは？

- ① 遊ぶための
道具をさがす。 ▶ ② すべり台・ブランコ。 ▶ ③ すべり台・ブランコ

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① しぜん 「自然」のなかまに入る材料を三つ選ぼう。

☐ さくらの木
 ☐ セミの声
 ☐ どんぐり
 ☐ ベンチ

② 「ベンチ」「水飲み場」は、どんな なかま名がよい？

☐ 休んだり使ったりする設備
 ☐ 生き物

③ 分けたなかまの中から、「公園のよさ」を伝えるのにいちばん使いたいなかまと、そのわけを書こう。

答え

1. さくらの木・セミの声・どんぐり 2. 休んだり使ったりする設備
3. 例：自然のなかま。季節ごとに楽しみがあることを伝えたいから。

送りがなと読み方

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

送りがなを手がかりにして、漢字の読み方を決めよう

🔍 まず、たしかめよう

- 同じ漢字でも、**送り**がながちがうと、読み方がかわることがある。
- 冷たい（つめ）・冷える（ひ） 細い（ほそ）・細かい（こま）

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「スープが冷める。」の「冷」の読みは？

① 送りがなは「める」。

②

「さめる」と読むと、
あたたかい物が
ぬるくなる
いみになる。

③ 答え さ

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

💡 送りがなは、言葉の形がかわる部分から書くことが多い。

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 冷たい水。

(2) 体が冷える。

(3) 細い道。

(4) 細かい字。

② 「にがい」を漢字と送りがなで書いたものは？

☐

苦しい

☐

苦い

③ 「目がさめる」の「さめる」を、漢字と送りがなで書こう。

目が

答え

1. (1) つめ (2) ひ (3) ほそ (4) こま 2. 苦い 3. 覚める

漢字（植物）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

植物に使う漢字「芽・種・松・梅」を読んで書こう

きょうの漢字

音 ガ
訓 め
はつが め で
発芽・芽が出る
上は く
さかんむり

音 シュ
訓 たね
たね しゅるい
種・種類
左は のぎへん

音 ショウ
訓 まつ
まつ き まつ
松の木・松ぼっくり

音 バイ
訓 うめ
うめ はな うめ
梅の花・梅ぼし

いっしょにやってみよう

れい 「たね」を漢字で書くと？

① 「禾」（のぎへん）
は、いねの いみ。

② 右は「重」。

③ 答え 種

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 畑に種をまく。

(2) 土から芽が出た。

(3) 松ぼっくりを拾う。

(4) 梅の花がさく。

② □に漢字を書こう。

(1) 新しい

(2) 類が多い。

(3) の葉は細い。

(4) ぼし

③ 「松」と「梅」に共通する部首は？

☐ 木へん

☐ のぎへん

答え 1. (1) たね (2) め (3) まつ (4) うめ 2. (1) 芽 (2) 種 (3) 松 (4) 梅 3. 木へん

国語辞典で意味と使い方を調べよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

国語辞典の意味と用例から、言葉の使い方を考えよう

🔍 国語辞典のページ (れい)

まとまる — まばら

まとまる ①ばらばらだったものが、一つになる。「みんなの意見が一」

②形がととのう。「作文が一」

まばら 数が少なく、間があいている ようす。「人が一な 公園」

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「一」は何を表している？

① 用例の中の「一」。

② 見出しの言葉が入る。

③ 答え 見出し語
(まとまる)

✎ やってみよう

♥️ できたところまでで OK

① 「三人の考えがまとまる」の「まとまる」は、①・②のどちら？

☐

①

☐

②

② 「まばら」の使い方として正しいのは？

☐

朝早い駅は、人がまばらだった。

☐

大好きな本を まばら読んだ。

③ 「まばら」を使って、短い文を作ろう。

答え

1. ①

2. 朝早い駅は、人がまばらだった。

3. 例：夜の道は、車がまばらだ。